



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月10日

上場会社名 株式会社パイロットコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 7846 URL https://www.pilot.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 伊藤 秀
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 湖 雅行 (TEL) 03-3538-3700
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 2021年9月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	50,426	16.3	9,735	27.0	10,391	35.7	7,138	40.1
2020年12月期第2四半期	43,355	△16.4	7,663	△24.9	7,660	△24.4	5,094	△25.2

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 8,857百万円(138.2%) 2020年12月期第2四半期 3,717百万円(△40.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	180.99	—
2020年12月期第2四半期	129.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	136,515	95,632	69.1
2020年12月期	123,571	87,873	70.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 94,374百万円 2020年12月期 86,740百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	27.50	—	27.50	55.00
2021年12月期	—	30.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	12.5	17,000	20.2	17,000	18.4	12,000	20.8	304.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. (3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期2Q	41,814,400株	2020年12月期	43,814,400株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	2,371,044株	2020年12月期	4,370,913株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年12月期2Q	39,443,405株	2020年12月期2Q	39,443,528株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式 (2021年12月期2Q9,700株) が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)における経済環境は、国内ではワクチン接種が開始されたものの、依然として新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経済活動の規制や自粛が断続的に行われ、社会・経済の低成長が継続しました。海外では比較的ワクチン接種の進む国々を中心に経済の回復もみられましたが、未だに多くの国と地域で感染症再拡大の不安を抱えており、先行きが不透明な状況となっております。

このような環境の下、当社グループにおきましては、日本及び海外の一部において筆記具需要の回復が思うように進まず、停滞が続いている市場があるものの、全般的には復調傾向で推移しました。

この結果、当期の連結売上高は504億26百万円(前年同期比116.3%)となりました。

国内外別では、国内市場における連結売上高は115億98百万円(前年同期比98.7%)、海外市場における連結売上高は388億27百万円(前年同期比122.8%)となりました。

また、損益につきましては連結営業利益が97億35百万円(前年同期比127.0%)、連結経常利益が103億91百万円(前年同期比135.7%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は71億38百万円(前年同期比140.1%)となりました。

各セグメント別の状況は以下のとおりです。

(日本セグメント)

国内のステイショナリー用品事業においては、感染症拡大の影響による消費の冷え込みからの回復傾向がみられるものの、都市部では緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が再び発出され、厳しい状況が続きました。その中で市場から好評を得ている「アクロボール03」等の新製品や、「フリクション」シリーズ、「ジュース」シリーズ等の定番商品の売場の維持拡大に努めるとともに、商品情報をWEBやSNSのデジタル広告で直接エンドユーザーに配信する試みを本格的に開始する等、来るべき回復期に備えました。

ステイショナリー用品事業の輸出においては、連結子会社向けの販売が、米国、欧州、中国向けを中心に好調に推移した一方で、外部顧客向けの販売は、東南アジア、中東、南米においてコロナ渦の影響が依然として大きく、苦戦が続きました。

玩具事業においては、国内販売で主力商品である「メルちゃん」シリーズや知育玩具が伸び悩みましたが、海外向けの販売が堅調に推移しました。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は142億19百万円(前年同期比97.9%)、セグメント利益は海外子会社向けの出荷の増加により79億65百万円(前年同期比130.6%)となりました。

(米州セグメント)

米州地域につきましては、米国市場の回復が見られ、定番商品の「G-2(ジーツー)」や「フリクション」シリーズの販売が活性化しました。ブラジル市場においても依然として感染症拡大の影響が残るものの、少しずつ販売回復の兆しが出てきました。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は135億20百万円(前年同期比110.9%)、セグメント利益は8億33百万円(前年同期比78.3%)となりました。

(欧州セグメント)

欧州地域につきましては、各国で感染症拡大防止措置が段階的に緩和される中において、「フリクション」シリーズをはじめとした主力商品が堅調に推移しました。また、環境規制対応商品やその他の付加価値のある製品群の充実等の施策により、シェアの拡大に努めました。

以上に加え為替の影響もあり、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は123億20百万円(前年同期比123.2%)、セグメント利益は14億11百万円(前年同期比160.9%)となりました。

(アジアセグメント)

アジア地域につきましては、各地で販売がコロナ前の水準に戻りつつあり、中国では「P-500/700」、「ジュース」シリーズ、台湾においても「ジュース」シリーズ等が堅調に推移しました。

以上に加え為替の影響もあり、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は103億65百万円（前年同期比156.3%）、セグメント利益は8億17百万円（前年同期比264.3%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比129億44百万円増加し、1,365億15百万円となりました。

流動資産は、127億95百万円増加し952億75百万円となり、固定資産は、1億48百万円増加し412億39百万円となりました。

流動資産につきましては、「現金及び預金」が64億29百万円、「受取手形及び売掛金」が58億80百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末比51億85百万円増加し、408億83百万円となりました。

流動負債は、63億94百万円増加し336億24百万円となり、固定負債は、12億8百万円減少し72億58百万円となりました。

流動負債につきましては、「支払手形及び買掛金」が43億42百万円、「未払法人税等」が24億76百万円それぞれ増加したことによるものです。固定負債につきましては、「長期借入金」が10億46百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末比77億58百万円増加し、956億32百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益71億38百万円を計上した一方で、10億84百万円の配当を実行したことによるものです。なお、自己株式を91億79百万円消却しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、当第2四半期連結累計期間の連結業績及び最近の業績動向等を踏まえて、2021年2月12日に公表した、当初予想を本日修正しました。詳しくは、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,313	44,742
受取手形及び売掛金	18,738	24,619
商品及び製品	14,830	15,307
仕掛品	4,559	5,203
原材料及び貯蔵品	2,896	3,126
その他	3,224	2,353
貸倒引当金	△81	△77
流動資産合計	82,480	95,275
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,328	25,610
減価償却累計額	△13,140	△13,629
建物及び構築物（純額）	12,187	11,981
機械装置及び運搬具	36,071	36,545
減価償却累計額	△29,388	△30,309
機械装置及び運搬具（純額）	6,682	6,236
その他	18,804	18,944
減価償却累計額	△16,511	△16,612
その他（純額）	2,293	2,332
土地	5,238	5,280
建設仮勘定	694	468
有形固定資産合計	27,097	26,299
無形固定資産		
借地権	5,355	5,355
その他	900	975
無形固定資産合計	6,255	6,330
投資その他の資産		
投資有価証券	3,548	3,729
繰延税金資産	1,719	2,304
退職給付に係る資産	1,659	1,810
その他	903	841
貸倒引当金	△93	△75
投資その他の資産合計	7,737	8,610
固定資産合計	41,090	41,239
資産合計	123,571	136,515

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,690	14,033
短期借入金	4,652	4,630
1年内返済予定の長期借入金	3,166	2,166
未払費用	3,004	3,223
未払法人税等	742	3,219
返品調整引当金	144	162
賞与引当金	699	617
役員賞与引当金	50	24
役員株式給付引当金	-	7
製品不具合対応費用引当金	-	63
その他	5,078	5,477
流動負債合計	27,229	33,624
固定負債		
長期借入金	6,659	5,613
繰延税金負債	71	7
役員退職慰労引当金	127	103
環境対策引当金	30	1
退職給付に係る負債	755	799
負ののれん	119	59
その他	702	673
固定負債合計	8,467	7,258
負債合計	35,697	40,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,340	2,340
資本剰余金	7,914	7,914
利益剰余金	103,577	100,441
自己株式	△20,061	△10,871
株主資本合計	93,771	99,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126	269
為替換算調整勘定	△7,306	△5,841
退職給付に係る調整累計額	149	122
その他の包括利益累計額合計	△7,030	△5,450
非支配株主持分	1,133	1,257
純資産合計	87,873	95,632
負債純資産合計	123,571	136,515

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	43,355	50,426
売上原価	20,418	24,310
売上総利益	22,937	26,115
販売費及び一般管理費	15,274	16,379
営業利益	7,663	9,735
営業外収益		
受取利息	47	28
受取配当金	90	139
負ののれん償却額	59	59
為替差益	-	389
その他	218	149
営業外収益合計	416	766
営業外費用		
支払利息	86	58
売上割引	27	28
為替差損	287	-
その他	17	23
営業外費用合計	419	110
経常利益	7,660	10,391
特別利益		
固定資産売却益	360	6
特別利益合計	360	6
特別損失		
固定資産売却損	4	0
固定資産除却損	19	6
投資有価証券評価損	404	30
ゴルフ会員権売却損	-	0
環境対策引当金繰入額	16	-
製品不具合対応費用	-	63
特別損失合計	445	101
税金等調整前四半期純利益	7,575	10,297
法人税等	2,324	3,081
四半期純利益	5,250	7,215
非支配株主に帰属する四半期純利益	155	76
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,094	7,138

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	5,250	7,215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	146
為替換算調整勘定	△1,583	1,523
退職給付に係る調整額	27	△27
その他の包括利益合計	△1,532	1,642
四半期包括利益	3,717	8,857
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,585	8,719
非支配株主に係る四半期包括利益	132	138

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年2月12日開催の取締役会決議に基づき、2021年2月26日付で、自己株式2,000,000株の消却を実施しております。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ9,179百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が100,441百万円、自己株式が10,871百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア (注)1	報告 セグメント 計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
売上高							
外部顧客への売上高	14,530	12,193	9,997	6,633	43,355	—	43,355
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,599	0	8	—	19,608	△19,608	—
計	34,130	12,194	10,005	6,633	62,964	△19,608	43,355
セグメント利益	6,097	1,064	876	309	8,347	△684	7,663

(注) 1 「アジア」には、アフリカ、オセアニアを含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア (注)1	報告 セグメント 計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
売上高							
外部顧客への売上高	14,219	13,520	12,320	10,365	50,426	—	50,426
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,378	0	2	—	22,381	△22,381	—
計	36,598	13,520	12,322	10,365	72,807	△22,381	50,426
セグメント利益	7,965	833	1,411	817	11,027	△1,291	9,735

(注) 1 「アジア」には、アフリカ、オセアニアを含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(共通支配下の取引等)

当社は、2021年7月1日付で、当社の完全子会社であるパイロットインキ株式会社の玩具事業（以下「本事業」といいます。）を会社分割（以下「本会社分割」といいます。）の方法により承継しております。

1. 取引の概要

(1) 対象となった事業の名称及び当該事業の内容

事業の名称	玩具事業
事業の内容	玩具の製造、販売に係る事業

(2) 企業結合日

2021年7月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を承継会社とし、パイロットインキ株式会社を分割会社とする会社分割(簡易吸収分割)です。

(4) 結合後の企業の名称

変更はありません。

(5) その他の取引の概要に関する事項

本事業は、パイロットインキ株式会社独自の技術である「メタモカラー（熱変色性材料）」の玩具分野への応用を起源として、現在は「メルちゃん」シリーズ、「バストイ」、「スイスイおえかき」シリーズや「アヒル隊長」シリーズ等の幼児向け玩具を中心に、キャラクター玩具等を製造・販売しております。

本会社分割は、「PILOT」ブランド及び関連商標を統一的に保有・管理することによるブランド価値のより一層の向上を目指し、当社グループ会社間の経営資源の最適配置と事業基盤の強化、一貫したブランド経験を提供する製品開発体制、品質管理体制の整備、加えて相互の持つバリューチェーンの強みを活用することによるシナジー効果の獲得に向けて、パイロットインキ株式会社が持つ玩具の製造、販売に係る事業を当社が承継するものです。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。